



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場会社名 株式会社中央倉庫 上場取引所 東
 コード番号 9319 URL http://www.chuosoko.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 正和
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画管理本部長 (氏名) 中村 秀麿 TEL 075-313-6151
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,716	0.9	442	2.8	540	3.3	354	2.4
2019年3月期第1四半期	6,656	0.9	430	△5.0	523	△2.5	346	△0.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 62百万円 (△85.6%) 2019年3月期第1四半期 436百万円 (△43.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	18.65	—
2019年3月期第1四半期	18.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	47,698	38,497	80.3
2019年3月期	47,029	38,673	81.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 38,293百万円 2019年3月期 38,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	10.00	—	12.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	13,400	1.6	870	11.2	960	7.5	660	31.7	34.70
通期	27,000	2.9	1,750	13.6	1,900	9.4	1,300	57.5	68.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	19,064,897株	2019年3月期	19,064,897株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	42,399株	2019年3月期	42,339株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	19,022,543株	2019年3月期1Q	19,022,633株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2020年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益に陰りはみられるものの、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しました。しかし、世界経済においては、米中貿易摩擦の長期化や電子部品関連を中心に生産調整の動きが見られたこと等により、先行き不透明な状況が続きました。

物流業界におきましては、倉庫保管残高等の取扱高は堅調に推移しておりますが、人手不足がより深刻かつ常態化することによる人件費・外注費の費用増加や燃料価格の高止まり等の影響に加え、輸出や国内貨物輸送量に減速感が見られるなど、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、当連結会計年度よりスタートした第6次中期経営計画「CHANGE! to 2021」の「CHANGE（意識・知識・組織）」の精神を組織の中に浸透させる活動と其中で掲げた具体的取組みを実践に移す活動を組織的に且つ積極的に推し進めております。また、顧客ニーズへの的確な対応と業務の効率化を図るため、既存設備の改修を進めるとともに、2019年5月にさらなる事業拡大のため滋賀県大津市に倉庫施設建築用地を取得しました。加えて、新分野への取り組みとして梅小路地区資産有効活用計画を着実に進めております。

また、さらなる業務品質の向上を図るとともに、環境に配慮したグリーン経営の推進にも取り組み、経営の効率化に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は6,716百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は442百万円（前年同期比2.8%増）、経常利益は540百万円（前年同期比3.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は354百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 倉庫業

倉庫業におきましては、入出庫高及び貨物回転率は前年同期に比し減少しましたが、保管残高はほぼ横ばいとなりました。これらの結果、倉庫業の営業収益は1,632百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は206百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

② 運送業

運送業におきましては、取扱数量は減少し、燃料費や人件費が増加しましたが、料金改定や配送・配車の効率化等の効果が表れて、運送業の営業収益は3,199百万円（前年同期比1.8%減）、セグメント利益は267百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

③ 国際貨物取扱業

国際貨物取扱業におきましては、梱包業の取扱数量は減少しましたが、通関業の取扱数量は輸入・輸出ともに増加しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は1,922百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は135百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ669百万円増の47,698百万円となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が646百万円、固定資産の投資有価証券が419百万円、それぞれ減少しましたが、滋賀県大津市に倉庫建築用地を取得したこと等により固定資産の土地が1,331百万円、現在建築を進めております北陸支店金沢営業所倉庫増設工事等に係る建設仮勘定が675百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ845百万円増の9,201百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれております未払金が143百万円、固定負債の繰延税金負債が94百万円、それぞれ減少しましたが、流動負債のその他に含まれております設備関係支払手形が554百万円、固定負債の長期借入金新規借入れ等により494百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ175百万円減の38,497百万円となりました。これは主に、利益剰余金は116百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が290百万円減少したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.5ポイント減の80.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローで589百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローで1,626百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローで390百万円の増加となり、前連結会計年度末に比べ646百万円（9.7%）減少し、当第1四半期連結会計期間末には5,995百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費によるものであり、589百万円と前年同期と比べ192百万円（48.6%）の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、主に、有形固定資産の取得による支出によるものであり、1,626百万円と前年同期と比べ1,129百万円（227.4%）の増加となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、主に、長期借入れによる収入によるものでありますが、長期借入金の返済及び配当金の支払いによる減少もあり、390百万円（前年同期は361百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結業績は、概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、2019年5月10日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,891,865	7,245,177
受取手形及び営業未収入金	4,569,391	4,606,672
貯蔵品	8,274	6,713
その他	299,585	158,045
貸倒引当金	△2,400	△2,295
流動資産合計	12,766,717	12,014,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,331,795	12,145,306
機械装置及び運搬具(純額)	664,958	706,202
土地	10,201,430	11,532,569
リース資産(純額)	24,397	19,032
建設仮勘定	969,278	1,644,300
その他(純額)	132,813	133,598
有形固定資産合計	24,324,674	26,181,010
無形固定資産	43,743	42,406
投資その他の資産		
投資有価証券	9,478,379	9,058,529
繰延税金資産	54,720	41,976
退職給付に係る資産	5,702	7,105
その他	357,092	355,009
貸倒引当金	△1,915	△1,915
投資その他の資産合計	9,893,979	9,460,706
固定資産合計	34,262,398	35,684,123
資産合計	47,029,115	47,698,437

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,512,494	1,467,847
短期借入金	3,110,000	3,110,000
1年内返済予定の長期借入金	256,057	396,057
リース債務	17,405	13,557
未払法人税等	210,780	132,093
賞与引当金	259,595	146,264
役員賞与引当金	37,300	9,575
その他	1,212,960	1,782,240
流動負債合計	6,616,593	7,057,634
固定負債		
長期借入金	238,554	733,498
リース債務	8,925	6,985
繰延税金負債	1,246,640	1,151,877
退職給付に係る負債	155,111	161,027
その他	90,023	90,023
固定負債合計	1,739,255	2,143,413
負債合計	8,355,848	9,201,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	29,953,871	30,070,840
自己株式	△36,791	△36,855
株主資本合計	34,915,181	35,032,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,491,100	3,200,561
為替換算調整勘定	199	1,565
退職給付に係る調整累計額	62,328	59,505
その他の包括利益累計額合計	3,553,629	3,261,633
非支配株主持分	204,455	203,668
純資産合計	38,673,266	38,497,389
負債純資産合計	47,029,115	47,698,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業収益	6,656,213	6,716,207
営業原価	6,057,844	6,094,532
営業総利益	598,369	621,674
販売費及び一般管理費	168,216	179,459
営業利益	430,152	442,215
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	96,367	100,542
社宅使用料	3,079	2,953
持分法による投資利益	1,939	259
その他	5,643	2,636
営業外収益合計	107,038	106,398
営業外費用		
支払利息	7,551	7,656
その他	6,022	161
営業外費用合計	13,573	7,818
経常利益	523,617	540,796
特別利益		
固定資産売却益	4,279	5,513
特別利益合計	4,279	5,513
特別損失		
固定資産除却損	13,119	795
投資有価証券評価損	—	3,687
特別損失合計	13,119	4,483
税金等調整前四半期純利益	514,777	541,826
法人税、住民税及び事業税	102,883	141,287
法人税等調整額	62,872	45,528
法人税等合計	165,755	186,815
四半期純利益	349,022	355,011
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,749	260
親会社株主に帰属する四半期純利益	346,273	354,751

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	349,022	355,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	91,698	△290,829
退職給付に係る調整額	1,652	△2,823
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,422	1,366
その他の包括利益合計	87,928	△292,287
四半期包括利益	436,950	62,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	433,025	62,755
非支配株主に係る四半期包括利益	3,925	△30

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	514,777	541,826
減価償却費	322,095	317,587
貸倒引当金の増減額(△は減少)	557	△105
賞与引当金の増減額(△は減少)	△129,583	△113,331
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,200	△27,725
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△440	363
受取利息及び受取配当金	△96,375	△100,549
支払利息	7,551	7,656
持分法による投資損益(△は益)	△1,939	△259
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3,687
為替差損益(△は益)	33	27
固定資産除却損	13,119	795
固定資産売却損益(△は益)	△4,279	△5,513
営業債権の増減額(△は増加)	△25,986	△37,281
たな卸資産の増減額(△は増加)	524	1,561
その他の資産の増減額(△は増加)	43,085	144,476
営業債務の増減額(△は減少)	△28,260	△44,646
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,583	88,336
その他の負債の増減額(△は減少)	49,873	△72,800
小計	634,970	704,108
利息及び配当金の受取額	96,875	101,049
利息の支払額	△5,211	△8,279
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△329,962	△207,247
営業活動によるキャッシュ・フロー	396,671	589,630
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△472,094	△1,636,305
有形固定資産の売却による収入	6,348	9,486
その他	△31,171	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△496,917	△1,626,810
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△76,500	△65,056
リース債務の返済による支出	△7,805	△5,788
自己株式の取得による支出	△54	△63
配当金の支払額	△276,397	△237,816
非支配株主への配当金の支払額	△756	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△361,513	390,520
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	△27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△461,792	△646,687
現金及び現金同等物の期首残高	8,326,760	6,641,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,864,967	5,995,177

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	1,560,549	3,249,926	1,845,737	6,656,213	—	6,656,213
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	25,623	8,089	—	33,713	△33,713	—
計	1,586,172	3,258,016	1,845,737	6,689,926	△33,713	6,656,213
セグメント利益	200,311	253,503	132,435	586,250	△156,097	430,152

(注) 1. セグメント利益の調整額△156,097千円には、セグメント間取引消去△61千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△156,036千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	1,600,561	3,193,051	1,922,594	6,716,207	—	6,716,207
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	31,526	6,192	—	37,719	△37,719	—
計	1,632,088	3,199,244	1,922,594	6,753,926	△37,719	6,716,207
セグメント利益	206,794	267,867	135,869	610,531	△168,316	442,215

(注) 1. セグメント利益の調整額△168,316千円には、セグメント間取引消去△95千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△168,221千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。